

まちかど  
ミニギャラリー



毎月JAなすの切花部会の皆さまから素敵な花をご提供いただいています。役場1階の町民ホールに飾ってありますので、来庁の際は、ぜひご覧ください。写真は菱喰内地区の生産者平山文修さんの「スプレーマム」です。スプレーマムは、小枝状に多くの花を咲かせ、色や形が豊富にあるキクの仲間です。

# 那須自然百景

No.20 エゾゼミ



(提供 那須平成の森フィールドセンター)

この写真は、那須平成の森フィールドセンターで撮影された「エゾゼミ」です。大きさは6センチほどで、セミとしては大形の種類です。背にはオレンジ色でアルファベットの「W」に見える文字があり、「ジー」と鳴くのが特徴です。鳴き声を聴くことができるのは7月中旬から9月初旬までです。

この時期から秋にかけてはスズムシやコオロギ、マツムシなどたくさん虫の声を聴くことができます。心地よい虫の声で季節を感じたり、思い出に浸るのも趣きがありますね。虫の声に耳を傾けて、心休まるひとときを過ごしてみたいいかがですか。

## かつこう



藤原てい著「流れる星は生きて」は、著者が敗戦直後の満州から幼い3人の子を連れ日本に引き揚げてくるまでを描いた小説。壮絶な描写に胸が締め付けられ涙が込み上げるのは、同じように幼い父を連れて引き揚げ、那須に入植した祖母の姿が重なってしまうからだろうか▼

幼い頃「お父さんには妹がいたけど、

引き揚げてくる途中で死んでしまった」と祖母から聞いた。実際は亡き骸を葬ることもできなかったということを知ったのは大人になってから。祖母の葬儀の後に母が教えてくれた▼大谷 千振、大同：町内に存在する開拓地のいくつは満州からの引揚者によって拓かれ、その不屈の精神によって町の農業は発展した。その陰に苦しく悲しい過去がありそれぞれの物語がある。小説の主人公は祖母であり、すべての引揚者。悲惨な

過去を身近に感じ、戦争という過ちを繰り返してはならないと改めて実感する。そして、逞しく懸命に生き抜く力がこの地に受け継がれていることを誇りに思わずにいられない▼8月15日、仏前で手を合わせ、祖母はあの世で幼い娘と会えているだろうか考える。きつと会えているだろうか。あの小説の一節が蘇る。『いつかあなたにまた会える。きつとあなたにまた会える。ご覧さいね。今晩も流れる星は生きています』

こんにちは

## 赤ちゃん



小山桃佳 (大同)

平成27年  
5月25日生

父 弘恭さん 母 紗織さん

桃佳ちゃん...

わが家のアイドル♪外遊び大好きです♡



大森友稀 (大同)

平成27年  
5月5日生

父 誠大さん 母 友理枝さん

友稀くんは...

お兄ちゃんと遊ぶのが大好きです!!

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

## 町の世帯と人口

(7月1日現在・住民基本台帳)  
( )の数字は前月比

・世帯数 10,236世帯 (-13)  
・人口 25,701人 (-39)  
男 12,726人(-20) 女 12,975人(-19)